

# 図書館通信

# —35—

1976. 2

## 特集

### 「図書館を改善するには」

静岡大学附属図書館には多くの問題があります。「図書館通信」の紙上にも、これまでに何度か、それらの問題点の指摘がおこなわれております。この特集「図書館を改善するには」のなかで語られていることは、すでに指摘ずみのことがらとってよいかも知れません。そのことを承知の上で、あえて特集してみました。それはこれらの問題点の多くが、解決されていないからです。そしてそれらを何とかして解決したいと考えるからです。

ここに特集した座談会やアンケートの記事のなかに熱心な教職員の姿勢があらわれているのは、わたくしたちを勇気づけます。この特集が静岡大学附属図書館の改善のために少しでも役立つならたいへん嬉しいことです。

◎座談会〔静岡大学附属図書館を語る〕は、1975年11月22日(土)の午前中、図書館の一隅で開かれ、中沢館長のほか岡部政裕(人文)、村松敬一郎(農)、田村貞雄(養)の各教官と、図書館から友田康夫、吉田玲子、長南千恵子、畠山百合子、そして編集委員の山口文太郎、安藤実、春山俊夫、石原良江が出席しました。司会は安藤が担当。記録は川原卯吉、吉田政信が担当。

◎この座談会のまえに教官に対し、図書館にかんする自由な意見を求めたところ、多数の回答を得ました。そのうちの特徴的なものを集めて、採録しました。

◎また、一部の学生・図書館職員にも意見を寄せてもらいましたので、その内容を要約して掲げてあります。

### もくじ

・特集「図書館を改善するには」……………	1
座談会「静岡大学附属図書館を語る」……………	2
教官のアンケート回答から……………	3
学生の意見・要望……………	4
図書館職員の意見・要望……………	5
・静岡県内小学校百年誌目録……………	5
・参考図書購入一覧 昭和50年度……………	6
・おしらせ(本館)……………	6
・人事異動(本館)……………	6

## 座談会 静岡大学附属図書館を語る

中沢館長 先日、教官にアンケートを出し図書館についての意見を求めましたところ、多くの声が寄せられました。それらのご意見を素材に、この座談会を企画しました。

司会(安藤) だいたい2つの面、教官の利用という面と学生の利用という面を話題にして行きたい。まず教官の利用にかかわることから……。

岡部(人) やはり基本的図書の系統的収集ということでしょう。理科系だとふるい図書は不要ということですが、文科系はふるいものは捨てられない。歴史的かなづかいを知る意味でも、たとえば「広辞苑」など旧版をふくめて所蔵される必要がある。

村松(農) わたしどものばあい、実験が中心です。図書も実験室のそばにほしい。学部のなかに図書館が必要だ。集中管理方式は不便だ。

吉田(図) それは集中制ということばかりくる誤解です。図書を本館で保管するというより、受入・整理・管理を集中しておこなうことにより資料のより効果的活用をめざすのが集中制で現に研究室貸出をしております、研究にさしかえるようなことはしていません。

田村(養) 集中講義に来た講師のすいせんした図書がなかった。専門の基本図書が不足している。全学的立場から図書が選定されるべきで、そのためには研究費のプールも考えてよい。ついでに、基本図書目録の作成をおねがひしたい。また、大学は内部ばかりでなく、外へ、市民にも開放すべきで、これが地方大学の義務だ。

岡部 開かれた大学図書館は、理念的には反対でないが、その前に、現在はこの大学自身の研究・教育を主にすべきだ。集中方式では運用面が問題だ。個々の研究費だけで資料を集めると、自分の研究分野の図書だけ増えて、ほかの基本的なものが欠落するということがある。それを図書館がひろってほしい。

司会 ことしは学生用図書の購入について自然・社会・人文の3分野別に小委員会をつくって選定に当たったが、こういう組織を恒常化することも考えられる。

吉田 東京学芸大学では図書館財政も潤沢で、主なものはほとんど購入できるという。

司会 集中管理といいながら図書のダブリが多い

ですね。

田村 以前に明治期の職員録をさがしたが見当らなかった。だいぶんたってから、「校訂」の「Ko」のところに配架されていることを知った。2冊もあった。一方で基本的資料、たとえば法令全書、法規分類大全などがないのに、他方で重複していたりする。

司会 整理に時間がかかる、分類や排架が不適當という苦情はアンケートでも多く出されている。

友田(図) 雑誌の受入れのばあい、2,700種の内外雑誌の管理を1人でやっている。図書の受入れも和書洋書各1人づつだ。11月から2月にかけては、たいへんな忙しさだ。困るのは予算残額についての個々の教官からの問い合わせで、その都度計算しなければならぬ。

長南(図) 整理係は、もう1名あれば、もう少しスムーズにいくと思う。農学部統合後、洋書の増加数がとくに多い。人数は増えていない。図書カードは雑につくれない。ある程度の精密さを維持したい。分類方法はNDCで、日本中に普及しているものだ。1カ所の棚で用は足らないのが普通だと思う。

畠山(図) 雑誌のうち年報類は図書扱いにしている。雑誌の排架は、雑誌目録に説明してある通りです。

田村 人員と予算の不足が一番の問題だ。カードでは著者名・書名・件名を総合したものがほしい。とにかく図書館独自の予算の確立、そして図書館機能の拡充が必要だ。

司会 アンケートのなかに、「館内に入って何となく陰気で、声をかけるのはばかられる」というのがあったが、こういうこともふくめて、学生サービスの面についてどうしたらよいか。

吉田 チェックされる、持ち込みに制限がある、書庫も見られないなどそういう気持になるかも知れない。しかしチェックをゆるめると不明図書が多くなる。学生の入館が少ないのは、開架図書に魅力がないということもある。

岡部 開架の冊数は多いが、魅力がない。

吉田 開架に出ているのは指定図書と合せて5万冊です。ちゃんとした選択がされれば、数としては十分ではないか。

司会 県立図書館がいいのは、10万冊も開架に

なっているからです。

村松 せっかく蔵書があっても、開架に出ていなければ利用も魅力も半減してしまう。

吉田 開架に出すばあいの作業がたいへんなので、計画的にやっていく必要がある。低書架を入れたら冊数も多くできる。不明図書対策もからむが。

村松 ある程度なくなるのはやむを得ないでしょう。

田村 テレビ世代なのだから、図書の幅をひろげたらどうか。また天井を高くするのもよい。

長南 東京学芸大学の例で、新刊図書をどんどん入れたら、いやでも利用者が増えたという。開架図書がふるくなっているのが問題だ。

司会 開架図書の見直しが絶対必要だが、それをやる機関や時期について具体化をはからなければならぬ。それから延長開館の問題ですが、大学図書館というのは、やはり夜、光っているというイメージなんです。

友田 現在の人員では不可能です。

司会 時差出勤などはどうか。

友田 そのばあい日常業務が停滞する。

田村 ずれた時間にしごとが集中して労働強化になる。

村松 土曜や日曜にも開館しているケースがあり、やりようによってはできるのではないか。

友田 予算面で絶対できない。各学部が援助してくれるなら別だが。

吉田 日常のしごとだけで一杯で、図書館内部から発想の転換はできない。

田村 図書館の責任でも、図書委員会の責任でもない。全学の問題なのだ。

司会 どこかが責任をもたなければならないのであって、全学的とは誰のものでもないことになってしまう。できないのが当りまえと考えているのはおかしい。受身でなく積極的に取り組む、責任のあるのはやはり図書館であり、図書委員会である。

吉田 むしろ図書館の業務を縮小したいという意見が委員会にあるのではないか。

司会 それは一部の声にすぎない。

村松 図書委員会と評議会との関係がよわい。館長が出ているが、どうもよわい。

岡部 教授会なみの権限を図書委員会にほしい。

司会 図書館として、こういうかたちならでき、予算はこのくらいかかる、というふうに具体的に出不されないかぎり、延長開館は絶対にできな

いだろう。問題はつきないが、おわりにひとことずつ。

山口 図書委員会に出ていて感じるのですが、各委員は学部代表という態度を止めてもらいたい。

岡部 同感です。超学部になってほしい。それにしても図書館にカネのないのも問題だ。

村松 超学部が理想だが、現状ではなかなか。しかしそれに近づきたい。図書館の予算のしくみを文部省から直接受けるようにして、研究費ふりむけをやめてもらいたい。

田村 超学部的地位に改善すること。専門職員にふさわしい人事管理を。そして地域社会への奉仕活動も。

石原 定員不足について理解していただきたい。

長南 資料充実の面でいえば、いまの図書購入を全学的に合理化するだけで、かなり買えるように思う。

吉田 予算と定員の問題につきる。拋出制では解決できない。人員は単なる頭数だけでない。質がからむ。一般職員なみの人事管理はやめてほしい。

友田 問題の8割までは予算の確立で片づく。専門職員として人事の充実をはかるのは賛成だが、全部が専門職員でなくてもよい。

春山 目録と地方資料を充実し図書館相互協力に努めたい。

司会 どうもありがとうございました。

## ◆教官のアンケート回答から

### I. 開館時間の延長を求める意見

「人件費を確保して開館時間延長を実現するようご努力ください。利用者が少なければ、利用者を開発すべくご工夫ください。利用者が少いから不要という受動的方針でなく、能動的に。」……杉山忠平

「米因各大学の閉館時間である午後8～12時までとは言わずとも、昼間ぎっしり授業がたった学生にも利用させうる様に開館時間を延長していただきたい。現在のシステムでは、学生の図書館における自習を前提として進める(真の実力をつける)授業形態をとれず、まことに遺憾である。」……露無慎二

「農学部分館の設立を強く望む。それが不可能ならば中央図書館の開館時間の延長(2時間位)を希望する。」……山田晴男

「学生ノエツ覧デキル時間ヲ実質的ニ延長スル

タメニハ昼休ミ時間ヲクリ下ゲルカ、時間差出勤ヲシテ頂クヨリ仕方ガナイノデハナイカト考エマス。」……北岡隆吉

「何をするにも先立つものは金、というのが現状であろうと察しますが、取り敢えず学生からの要求も強い開館時間の延長を実現していただきたい。具体的には、月～金は少くとも7時まで、土は3時まで開いておいてほしい。」……高橋作太郎

「夜間開館や休暇中の開館も行えるように配慮していただきたい(学生の研究用に)。」……近昭夫  
「学生のために、夕食後も利用できるよう考慮してほしい。」……松田禎二

「学部学生のカリキュラムの現状からみて、閉館時間を5時とするのは、ムリがある。平常時も、人員を確保して、7時まで開館してやってほしい。」……無署名

## Ⅱ. 開架(学生用) 図書の改善を求める意見

「学生図書の購入については、教官個人別のみの要求に従って図書選定を行うのではなく、各専門部門のバランスを考慮すべきで、そのためには、部門毎に別に委員を出して選定するのが望ましい。」……原秀三郎

「学生図書として、全集ものなど計画的に購入していく必要があるのではないか。」……山脇貞司

「開架図書を一定の期限がきたら入れかえるということを教師の協力を得てやるのが望ましい。」……居城弘

「指定図書目録を刊行する金を、学生用図書の方へ回していただきたい。」……真田孝昭

「学生への貸出し冊数をふやすか、開架図書をふやすようにしてはどうか。」……三橋良士明

「自然科学部門の単行本がもっと増えるよう、努力して欲しい。」……大石惇

## Ⅲ. 図書館業務のサービス改善について

「新着図書のカードのコピーを専門分野の分だけ、学部へ配布していただけないでしょうか。」……村松真一

「旧制静高の図書を早急に整理して、静岡大学の図書とまとめてほしい。」……名和鉄郎

「書庫内の排列については、シリーズ物を分野ごとに分割することなく、まとめて排列する方が、教官の書庫内検索に便利であろう。」……日野資純

「今後のひとつの方向として文献目録の収集に努力されたら良いと思います。」……小沢康彦

「白書・年鑑・Who's Whoなどの類に欠号ができないようお願いします。」……杉山忠平

「定期刊行物・雑誌・統計などは毎号確実に購入できるような体制をつくっていただきたい。」……近昭夫・佐藤博明

「静岡県を中心とした地域に関する研究資料を整備しなければならない。これは種々の学問分野にわたるから……関係の教官の意見をきき、その支援を仰ぐ必要がある。」……柴田勝次・居城弘

「図書購入の手続きをとってから入手する迄の期間が長くて困る。よい対策を考えて欲しい。」……甲斐勇二ほか多数

「書庫スペースの確保のためにも、理科系の書籍の廃棄の方法を検討すべきである。」……水野秀夫

「現在、図書館での定員外職員のための費用は極めて大きい。静大全教職員の内約半数が事務(ほとんど一般事務)で占められているが、この中で図書職員が確保されるべきで、不足分は一般事務の方で定員外職員を採用すべきだと思う。(現状では主客転倒であり、また教育研究に關係のうすい事務が多く、そのために人が取られているように思える。)」……竹内久直

「参考調査係を充実するとともに、その機能と利用の便を関係者により広く広報されたい。」……多門院和夫

「静岡大学図書館としての特徴を発揮するような収書活動や図書館文化活動など生き生きした雰囲気をつくり出すよう期待します。」……安藤実

「研究費による書籍購入について、注文してから入手するまで極めて長月日(or年月)がかかり、研究に支障をきたしている。今後もこのような状態がづくなら、中央図書館制度を再検討すべきであろう。」……天岸祥光

## ⊕学生の意見・要望

杉山嘉一(人文・4年)「図書館からの情報提供に問題がある。利用案内を小冊子にして全員に配付すべきだ。旧制静高の蔵書を整理し現行のカード目録に入れたらどうか。レファレンスの積極的利用と機会をみての入庫(オリエンテーションのとときか、卒論作成のさい指導教官と。)を勧める。」

清座英貴(人文・4年)「図書委員会に学生の代表を全学から選び参加させるべきである。学生の参加がないかぎり実情に合わない運用(たとえば貸出し期間が1週間しかないこと、卒論用でさえ2週間しかない。)は改まらないだろう。」

望月則江(教育・4年)「いつも私は自分の求

める本を捜すのに、目録と悪戦苦闘する。分類目録・書名目録・著者目録それらを右往左往し、結局あるかないか、はっきりつかめぬまま、目録不信に陥り、いやな気分で退散したことが何度もある。書庫にある本がほしくて、あの目録を使うのが厄介でやめたなんていう人も、案外たくさんいるかもしれない。」

某々君 「研究室貸出しが多いのは、学生の向学心を破るだけでなく、図書館を単なる自習室と化してしまう。蔵書数の増加とその常時利用可能な態勢を第一に希望する。」

蜂谷和明(理学) 「…試験期間中の延長時間は利用者が少ないようですが、利用するものにとっては大変ありがたい。その他の日にも考えていただけないでしょうか。」

大修館(教育) 「雨が降ると暗すぎる、もっと明るくしてほしい。文学書(太宰治全集など)を入れてほしい。」

## ◆図書館職員の意見・要望

「情報化時代に対応する大学図書館の機能について、関係者は予算・定員・設備の改善をはじめ管理運営全般にわたり、サービス向上につながる方策を長期的展望のもとに検討してほしい。」  
……吉田玲子

「私達の仕事に対してもっと理解を示していただきたい、充分に仕事出来るだけの予算と人員が欲しいというのが、さしあたっての切実な願いです。」……長南千恵子

「図書館、利用者(学生・教官)、事務局3者のまとまりが欠けていて、目的に前進する力がないこと、従って各々の現状での妥協が多すぎる。」……岩本攻

「利用者(教官・学生)と図書館員との間の集会をもつようにして、図書館利用に関して意見・要望を交換する。」……山本孝

## 静岡県内小学校百年誌目録(稿)

静岡大学教育学部附属静岡小学校 附属の教育百年 昭和50

安東小学校(静岡市立) あんどう 昭和49

大河内小学校(静岡市立) 大河内 昭和49

大里西小学校(静岡市立) おおさと 昭和49

元城小学校(浜松市立) もとしろ 昭和48

和田小学校(浜松市立) 和田学校百年之歩み 昭和48

沼津市立第一小学校 100年の追憶 昭和43

大岡小学校(沼津市立) おおおか 昭和49

入江小学校(清水市立) 入江の里 昭和48

不二見小学校(清水市立) 不二見 昭和49

有度第一小学校(清水市立) 有度小百年 昭和50

大宮小学校(富士宮市立) おおみや 昭和48

井之頭小学校(富士宮市立) いのかしら 昭和49

土井出小学校(富士宮市立) 麗岳 昭和49

島田第四小学校(島田市立) 島田学校開校百年史 昭和48

湯日小学校(島田市立) 開校百年誌 昭和49

元吉原小学校(富士市立) 松籟 昭和49

吉永第一小学校(富士市立) 穆清 昭和48

磐田中部小学校(磐田市立) 百年の歩み 昭和

49

磐田北小学校(磐田市立) 開校百年 昭和49

赤佐小学校(浜北市立) 赤佐小学校百年の歩み 昭和50

新原小学校(浜北市立) 新原百年 昭和50

光明小学校(天竜市立) 光明小学校開校百周年記念誌 昭和48

二俣小学校(天竜市立) 二俣小学校百年のあゆみ 昭和48

岩科小学校(賀茂郡松崎町立) 岩科学校 昭和49

安良里小学校(賀茂郡賀茂村立) 安良里小学校 昭和49

土肥小学校(田方郡土肥町立) 百年のあゆみ 昭和49

成美小学校(駿東郡小山町立) 成美百年 昭和49

蒲原西小学校(庵原郡蒲原町立) 創立100年 昭和48

金谷小学校(榛原郡金谷町立) かなや百年 昭和48

熊切小学校(周智郡春野町立) 百年の歩み 昭和49

